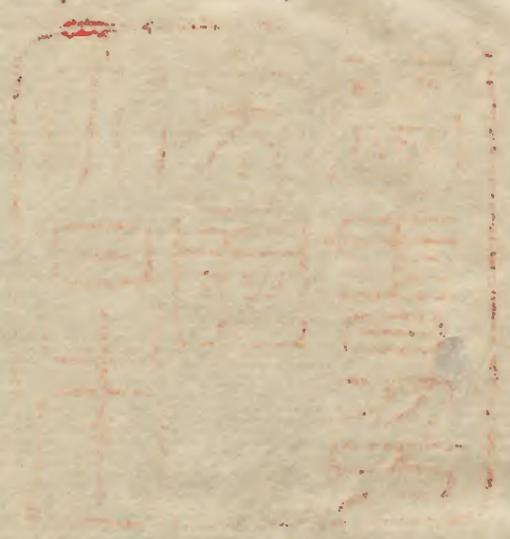


和書門				
類	號	函	架	冊
	二七〇七三	八二	五三	五三

內閣文庫			
和書	類	號	冊
	二七〇七三	五三	二〇〇
		六	一

內閣文庫	
番號	和 27073
冊數	53 (39)
函號	200 129



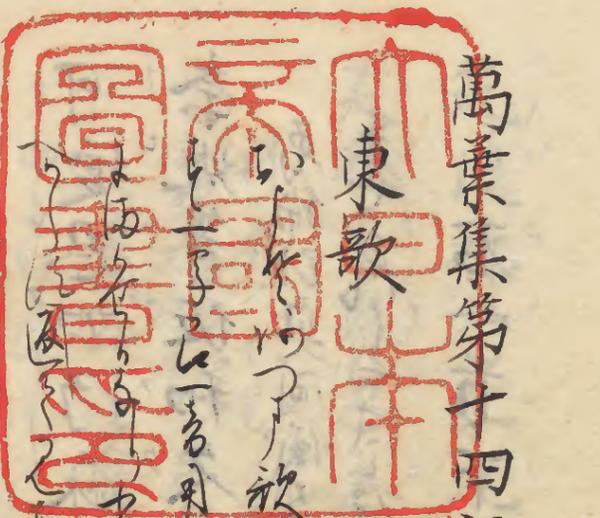


明治十二年購求



萬葉集第十四師説卷上

東歌



奈都素妣之宇奈加美我多能於伎都清尔布
祢波等杼米牟佐欲布氣尔家里

麻呂末皮とらへんをいし今世の川なり
いしものみ秋集申高川といふもりも秋らるるか

或本歌曰多良知祢能又之安麻多伎保思
母

或曰平八常陸守ともいへばあすのいしにまをたぐ
筑波祢尔由伎可母布良留伊奈乎可母加奈
思吉兒呂我尔努保佐流可母

ゆふあまのこいなきともいふはれなきあつたも
かへりていふはれなきともいふはれなきあつたも
い子い子い子思らばい子い子い子い子い子い子
はあていふはれなきともいふはれなきあつたも
奴と通す

神傳抄のいふこと凡俗所引うも二乃被れとていふ
はれなきともいふはれなきあつたも

右二首常陸國歌

信濃奈流須我能安良能尔保登等藝須奈之
許惠伎氣婆登伎須疑尔家里

此の荒地筑摩郡奈賀郡これの通名れん
こすいんを才九才十もいふ
きりたん
乃本所とて才九才十もいふ

右一首信濃國歌

和名之
奈乃

相聞

阿良多麻能伎倍乃波也之尔奈乎多氏天由
吉可都麻思自移乎佐伎太多屋

和名集之菟王 阿良多末
今称有玉

说之百余又决之... 菟王の比も亦多く民家と
頼せしふ之に... 中ノ代根才上ノ璞と寸

之ノ後ノ寝之... 今代邦人何れや

我竹道... 今代邦人何れや

伎倍比等乃萬太良夫須麻尔和多佐波太伊
利奈麻之母乃伊毛我乎杼許尔

きへんハ伎倍ハ臣女と云を難波人ハ早もいへ 両事
おと雨才七まう... わ
こり... 入るま
仙意... 上
以下... 上
可... 不用

右二首遠江國歌

和名止保
太阿不三

安麻乃波良不自能之婆夜麻已能久礼能等

こゝろのたぐひのいひわたりはこれのほかにそと
こゝろのたぐひのいひわたりはこれのほかにそと
こゝろのたぐひのいひわたりはこれのほかにそと
こゝろのたぐひのいひわたりはこれのほかにそと
こゝろのたぐひのいひわたりはこれのほかにそと

或本哥曰麻可奈思美双良久波思家良久
奈良久波伊豆能多可祢能奈流左波奈須
與

ゆゑのいひまこといひわたりはこれのほかにそと
ゆゑのいひまこといひわたりはこれのほかにそと
ゆゑのいひまこといひわたりはこれのほかにそと
ゆゑのいひまこといひわたりはこれのほかにそと
ゆゑのいひまこといひわたりはこれのほかにそと

一本歌曰阿散良久波多麻能乎思家也古
布良久波布自乃多可祢尔布流由伎奈須
毛

玉乃流志もやいそくわすりては信のいひわたりはこれのほかにそと
玉乃流志もやいそくわすりては信のいひわたりはこれのほかにそと
玉乃流志もやいそくわすりては信のいひわたりはこれのほかにそと
玉乃流志もやいそくわすりては信のいひわたりはこれのほかにそと
玉乃流志もやいそくわすりては信のいひわたりはこれのほかにそと

玉乃流志もやいそくわすりては信のいひわたりはこれのほかにそと

たゆふほまはゆまのこゝろをいへん絶つるも絶る
つゝも健人といふはもつゝも健人といふはもつゝも健人
いふはもつゝも健人といふはもつゝも健人

右一首伊良国歌

安思我良能乎氏毛許乃毋尔佐須和奈乃可
奈流林之豆美許言安礼比毛等之

とてこのおもは彼面いひりやふらぬ

易云得免志
蹄 神武紀云
シキワナハルサバ
ヤシキハワヤラヌ

各蹄和今も康さつなわしてえけり
かやうしる心
まつとまつとまつと
将統紀は統統とまつ

とめやうしる心
人たもといふ志のいれはつ
ていしる心

相換祢乃乎美祢見所久思和須礼久流伊毛
我名欲妣氏吾乎祢之奈久奈

と長いと思ひあし
之ハ助之終の奈久
北陽人ワスラムト世ニキヤ山キ

或本歌曰武藏祢能乎美祢見可久思和須

氏とら通一と云うていふもいふ下にも人かそなるまよとて
 よもしとも のらぬなきん 君らなるしに上よきと
 トはよ名のまねにあつたふおのりかへふ 田有なま
 しかんれいあつたふおのりかへふ 田有なま
 左國経をそしむへくこと
 武藏野乃乎具奇我吉藝志多知和可礼伊尔
 之與比欲利世呂尔安波奈布與
 かくまハ頭東紀云或上之た少郊ニ置於地跡をくまれま
 是と云ふまよとていふもいふ下にも人かそなるまよとて
 小野外日郊とあまのむしり堅のしるまをりして
 小野外日郊とあまのむしり堅のしるまをりして

経體紀ノトリ
 枳蟻久播等
 余武

百洲思家波素氏毛布良武乎牟射志野乃字
 家良我波奈乃伊呂尔豆奈田米

いろよてぬとのといひていふもいふ下にも人かそなるまよとて
 いろよてぬとのといひていふもいふ下にも人かそなるまよとて
 いろよてぬとのといひていふもいふ下にも人かそなるまよとて
 いろよてぬとのといひていふもいふ下にも人かそなるまよとて

能可奈之伎乎刀尔多氏来也母

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

に可^カ奈^ナ之^シ伎^キ乎^ヲ刀^ト尔^ニ多^タ氏^シ来^キ也^ヤ母^モ

うしあまをふさひていふらんこころのうらみは
あまのこころにたづねていふらん

右四首下總國歌

筑波祢乃祢呂尔可須美為須宜可提尔伊伎

臣之伎美乎為祢氏夜良佐祢

筑波祢乃祢呂尔可須美為須宜可提尔伊伎

臣之伎美乎為祢氏夜良佐祢

筑波祢乃祢呂尔可須美為須宜可提尔伊伎

臣之伎美乎為祢氏夜良佐祢

伊毛我可度伊夜等保曾吉奴都久波夜祢可

波太奈利努乎萬多祿天武可聞

ほたらーいとし美五音通思知口韻ちもーして月まよそ
月はらうくまのいふへ あひらよこまらうるあはれい
ほらうまらあをいふらうらまらうらうらうらうらうら
利と礼と通して不列とをいふらうらうらうらうらうら
まらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
まらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
乎都久波乃之氣吉許能麻欲多都登利能日
由可汝乎見年左祿射良奈久尔

之をキナハラハヨシのよやうもーして後へ中流家だよ欲の次ナ利ナ
あはれいれよやうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

あつらふとらへん月うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

いふらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
たつとも月より女とらんうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
あつらふとらへん月うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

比多知奈流奈左可能宇美乃多麻毛許曾比
氣波多延須礼阿狩可多延世武

比多知奈流奈左可能宇美乃多麻毛許曾比
氣波多延須礼阿狩可多延世武

塙下首頭仲あつらふとらへん月うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

右十首常陸國歌

此等未奈乃許等波多由登毛波尔思奈能伊
思井乃手見我許登奈多延曾祢

塩科
いしおまのりいし井とふりしし
いしおまのりいし井とふりしし

信濃道者伊麻能波里美知可里婆祢尔安思
布麻之牟奈久都波氣和我世

いものしりまの今れはほまをわつたよつとほく才十二
いてそり
あつたよつとほく才十二
あつたよつとほく才十二
あつたよつとほく才十二
あつたよつとほく才十二

からりりきそるなれはまの好まのあひの思れ
いてよるれあんとつ道成をわつたよつとほく才十二
く門成しよ月をいしりしとく
信濃道者伊麻能波里美知可里婆祢尔安思
信濃道者伊麻能波里美知可里婆祢尔安思

信濃奈流知具麻能河泊能左射礼思毋伎弥
之布美氏婆多麻等比吕波牟

和名抄筑摩国府郡
玉しも只てまらんとん
和名抄筑摩国府郡
玉しも只てまらんとん

中麻奈尔宇伎乎流布祢能許藝氏奈婆安布

ふしの心へ 上ニホタルアラハハ
あはれいしや

あまのつらふえの我ハ人

鳥の心通してよの心炊ちくこのてよとひるもくも
くはら折もてしやうんは

可美都氣努麻具波思麻度尔安佐日左指麻
伎良波之母奈安利都追見礼婆

まらわーぬと才十と約ひるひまらーも目細とま
見れは眼妙娘とまらわーぬと約ひるひまらーも目細とま
てしやうんは
空母鏡寛玲瓏映日
くはら折もてしやうんは

られいとしらりーまのひきあろろ神女賦云其始来也羅

平若白日初出照屋梁の詳而視之奪人目精云く俗

とゆふよといふ差明や人と通るあ神武紀

才十と約ひるひまらーも目細とま

尔比多夜麻祢尔波都可奈那和尔余曾利波
之奈流見良師安夜尔可奈思母

新因助あ 祢よらほろろの嶺ハ付莫へ次の那ハ
いん ちよらほろろの嶺ハ付莫へ次の那ハ
とゆふよといふ差明や人と通るあ
あはれいしや

ぬきしつゝも人よらるるつぎにせられし心さ

いせくいはしむともわたりしつゝもやうして居る

が祈人ころより祈りて

伊香保呂尔安麻久母伊都藝可奴麻良久之比

等登杭多波布伊射祢志米刀羅

神名帳云群馬郡伊加保神社名神 天宮伊継存りし

伊加保神人波美附りし人比能比下よも

まを乃ほくのひりし人よもまきなりし神もひし

こもなりし人よもまきなりし神もひし

と能るを波と来りて人よもまきなりし神もひし

いぬきしつゝも人よらるるつぎにせられし心さ

いせくいはしむともわたりしつゝもやうして居る

が祈人ころより祈りて

伊香保呂能蘇比乃波里波良祢毛巴呂尔於

久乎奈加祢曾麻左可思余加婆

下はも二三乃向をせし傍へ川をいなるりし山の

岨といふと山をいなるりし傍へ川をいなるりし山の

いづの榛の小ちるきなりし神もこられ祢を小根よひる

してはくらの神人 奥を奥東をいし未成なるりし

とく 飯下りしよりいづの山をいなるりし山の

いづの山をいなるりし傍へ川をいなるりし山の

何してそのりキを違ふとれぬゆく事然いふ
らんしうのてうくく乃やとキとれし祿も
通る多れ禍床下らりあつらるいれむはし
多胡能祢尔與西都奈波倍氏與須礼騰毛阿
尔久夜斯良之曾能可把與吉尔

寄網延て誰寄り下向心はく死并れり
あにく
や志つた量も哉静の之才上は初ま乃あし
こころ容儀は静るをけしりや
又研よりせつらてらとれともら心るす
は市園して秋官を抱て也もろもを月へや
は巻の

下 西葉伊可抱祢尔
も抱子をまこも 又新良之志つ
しとるへいしよふ
今粟に新良
後以麻しとふやいほゆれ人よのらせはな
くこれともふし麻を橋小縄網を法て張な
へは嵩もやと向ふて志つしと麻乃とれむ
彼麻のふきよ嵩もやいひと出な
あつらんよのありしとあつらん
賀美都家野久路保乃祢尔乃久受葉我多可
奈師家兒良尔伊夜射可里久母

くせしうの馬系方なりと云々
 まこもをこしをいやはしりまもしりかふるん
 又しにわたりらよあをうけりきこつとくを
 つもつとくもゆれしかのほもてりけりもとくあらし
 吾はくぬはりしうゆれし
 刀祢河泊乃可波世毛思良受多全和多里奈
 美尔安布能須安般流伎美可母
 利根取こはたのりし
 小海之ほあふのほ通るるんかきなるんわす
 なるしん心そほはりふとくあくる思ふれといふ
 うりせもまはりたれんもてりしとくあはれはれ梅

伊香保呂能夜左可能為提尔多都登自能安
 良波路萬代母佐祢乎佐祢氏婆
 可美都氣努伊可保乃奴麻尔宇惠吉奈宜可
 水氣まよとのま井出ませあてまのあしあはる
 あともとてしたん名はまいんまあそあをきし
 小ぬましんまてりし
 たつのいん虹く
 水氣まよとのま井出ませあてまのあしあはる
 あともとてしたん名はまいんまあそあをきし
 小ぬましんまてりし

とらるるぬとも集め載せしむるなりと
あふれるそく入るふはもろの可よせ人し権者
もほしそくなり
可美都氣努佐野田能奈倍能武良奈倍尔許
登波佐太来都伊麻波伊可尔世母

伊野田をのりしと也
和名沙那波那籍田也
しるしあつた苗代わせりてえ外ら
くわりしてたならんせねやうよ
又攻もやれはまてて今うの奈留しるる人
はまよとまも

伊保の詞

伊加保世欲奈可中次下於毛比度路久麻許
曾之都等和須礼西奈布母

いりか保よいりかにあはせよと呼かあてりて
昔陸の路人の事より
より母とてせり
中もせよ
とよし
伊加保世欲奈可中次下於毛比度路久麻許
曾之都等和須礼西奈布母
比と倍者由

くまのこりさつし
東は田舎まじりさきまじりわづらまじり
乃やうまじり仁徳紀十年別御子の并に
山もしりふ新まじりてあまのりなてれく
いさしをまじりてあまのりなてれく
よひのり許曾の通してびるりて之都
一上にもあまのりなてれく
いれも通ていれも須と都と口納も
てし須と志通してあまのりなてれく
やあまのり山部麻士いれもあまのり
まもあまのり志せあまのりあまのり
いれもあまのり山部麻士いれもあまのり

るに初句をうらな女おれ隔るもあまのり
いれもあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
可美都氣努佐野乃布奈波之登利波奈之於
也波左之礼禰和波左可礼賀倍

ふれんし毛詩大明曰造舟為梁註曰造作梁橋也作船於
水比之而加版於其上以通行者即今之浮橋也
三つあまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり

伊香保祢伊可未奈那那里曾祢和我倍尔波由
 惠波奈家杼毋兒良尔奥里氏曾
 祢勿鳴嫌へ ちよよん我家よん又あよまを身
 けうへん ちよんもももいゆあんれもえ女をいほ
 嶺よんそそんやうていあももあのかうもあひな
 ちよんこのあらしも女わんがうんるるれいそもあま

伊香保祢伊可未奈那那里曾祢和我倍尔波由
 惠波奈家杼毋兒良尔奥里氏曾
 祢勿鳴嫌へ ちよよん我家よん又あよまを身
 けうへん ちよんもももいゆあんれもえ女をいほ
 嶺よんそそんやうていあももあのかうもあひな
 ちよんこのあらしも女わんがうんるるれいそもあま

伊香保祢伊可未奈那那里曾祢和我倍尔波由
 惠波奈家杼毋兒良尔奥里氏曾
 祢勿鳴嫌へ ちよよん我家よん又あよまを身
 けうへん ちよんもももいゆあんれもえ女をいほ
 嶺よんそそんやうていあももあのかうもあひな
 ちよんこのあらしも女わんがうんるるれいそもあま

伊香保祢伊可未奈那那里曾祢和我倍尔波由
 惠波奈家杼毋兒良尔奥里氏曾
 祢勿鳴嫌へ ちよよん我家よん又あよまを身
 けうへん ちよんもももいゆあんれもえ女をいほ
 嶺よんそそんやうていあももあのかうもあひな
 ちよんこのあらしも女わんがうんるるれいそもあま

阿新用中那 係公御座たれし
あきとくしてはてはくそ
そとくね まことのけいけい
つとておとくをば
これいしとくふとく
いしとく

右二首下野國歌

和名之
毛良奴

安比豆祢能久尔乎佐杼抱美安波奈波婆斯
努比尔勢牟等比毛牟須婆左祢

會保阿比 郡分りて ことふとの依りてまじりて用をさへ
即ち阿比を名に依れり用をさへ
陸奥但馬住所

筑紫奈留尔抱布見由惠尔美知能久乃可力

利乎登女乃由比思比毛等久

にわ小兒の御子をわたりてよそ信よかりし小兒とい
ふとるいん かきうそとる女代とつらういふ詞へつらう
ららのけいけいなる名なりとて凡女乃新和名集曰毛詩注云納
名加 縁也このまねとてふ出づる名つらう奴はまねとて
止利 正利 十九いひゆるりてとてとる
いせいねる名とらう奴とて 階人のけいけいとてとる
らつらとまきつらうとていふらつらとてとる奴

安太多良乃祢尔布須思之能安里都全毛安
礼波伊多良牟祢度奈佐利曾祢

あつらと祢とつらうとていふ
法抄よる或抄温泉あり

玉造郡秋津名帳子温泉津江有
くして好もあはつて人へ 福しむるもその福し
ころ然たりくともはてしなくあまのこゝろに
山物くあつてけりて七秋物としくもふしつり秋

右三首陸奥國歌

和名三知
乃於久

譬喻歌

毛乃そとくあし

等保都安布美伊奈佐保曾江乃水乎都久思
安礼乎多能米氏安佐麻之物能乎

引佐伊奈郡 毛乃そとくあし
毛とつてはよきとるを あまのこゝろに
あまのこゝろに

てて我者不憑人 あまのこゝろに
てて我者不憑人 あまのこゝろに
あまのこゝろに

右一首遠江國歌

斯太能宇良乎阿佐許求布祢波與志奈之尔
許求良米可毋與奈志許佐流良米

志ら郡 志ら郡
志ら郡 志ら郡
志ら郡 志ら郡

いよ 由之あれいよ 此いつまのこも 其まも 其
も 入らんと由とすしていふらんと 入らぬあり

右一首駿河國歌

阿之我里乃安伎奈乃夜麻尔比古布祢乃斯
利比可志毋與許已波故賀多尔

良玉重通

あき子の山が末切いよ 山に舟なり 山に舟なり

りく 山に舟なり 山に舟なり

ていよ 山に舟なり 山に舟なり

りく 山に舟なり 山に舟なり

りく 山に舟なり 山に舟なり

阿之賀利乃和乎可難夜麻能可頭乃木能和
乎可豆佐祢毋可豆佐可受等毋

わさけいよ 可難山とす 山に舟なり 山に舟なり
はららるる也 かつの山に穀入可頭とす 通る可難

西良思馬伎那婆都良波可馬可毛

あつらふもあつてよもくわつてあつらふらん

わきなりやんまきまき西側せのまき用たりつむし常通

せり法としつしきまきまきつなふん戦國策

云う撥矢鉤注曰撥これかふたふん

わつら可と氣も通つるもつらもん

あつらひしきまきまきつなふん

あつらひしきまきまきつなふん

雑歌

己下東秋まき用未幼るふと教つて我まき

都武賀野尔須受我於等伎許由可牟思太能

等能乃奈可知師登我里須良思母

つむしやもあつてよもくわつてあつらふらん

感あつてよもくわつてあつらふらん

字をまきまきまきまきまきまき

あつらひしきまきまきまきまき

或本歌曰美都我野尔又曰和久胡思

こつ舟石名らん わつこわつり詩云駟賦礼
阜六轡在手公之婿子後公下將
須受我祿乃波由馬宇馬夜能都追美井乃美
都乎多麻倍奈伊毛我多太手欲

古詩拾遺云鍾愛常懷掖下
礼曰腹子今俗号稚子謂和
し由まハ早るれりり紀子とこいよとあをけし
中と通せんし由まこいよとこいよとあをけし
詞乃執子と交治とを珍とけしあをけし
し由まこいよとこいよとあをけし
井不乃名るりト下向乃流成流とらまやと之
らりト甲馬アハし鳥とけし水とこいよとあをけし
若地勢險及無水草處隨使安置不限里數
毎三十里置一驛

許乃河泊尔安佐奈安良布見奈礼毛安礼毛
知余乎曾母氏流伊低見多婆安里尔

まはもあれもい女も我もん 知余をりもてい子歳を
此抄へいひひひひひ いてい気詞句たもろわい
礼とへ 又信東阿野家千敷原仙是坐たり余知も信を
よらもい記して能見といふ才又まよと之まろはあ
たりの初もこも物果何もんをい何思ともし
ほまおまふもそんもまよもまよもまよもまよも
よあよまんといひもい女もい人といひらまろ
一云麻之毛安礼母
まろいひらまろい女也らも記も麻新登全

麻等保久能久毛井尔见由流伊毛我敏尔伊
 都可伊多良武安由賣安我百麻

柿本朝臣人誓歌集曰等保久之氏又曰安
 由賣久路古麻

安良麻治乃手兒乃歌妣左賀古要我祚氏夜
 麻尔可祚牟毛夜杼里波奈之尔

此歌よりいふ下はあつましたては活人よりうきは二を後國

風虎安設有く由流伊毛
 せしふふは伊の女神は昇しつとふれしてこ乃呼岐はら
 くれ園るれと由集よまはよま歌なるくいつまの園とを
 不知月乃風虎乃内信多々信用とて死すあまとなを
 小えく○の歌不得中り 山より保むも山より保むもへ
 岸良毛奈久和我由久美知尔安乎夜直乃波
 里氏多氏礼婆物能毛比良都母

うもたうのいゆるもあ〜と〜ふんへ才十三このもりそ
 通ゆるももさ〜 ち〜と〜柳はえくら〜のり
 け〜ものものさ〜と〜
 河津家平仙童良を伝互
 左の通つともを心たり
 きのわらうて妹う人れは〜と〜あ〜又今うか〜年〜人

我多とんひんくまをしのほね
使波都久乃乎加能久君美良和礼都賣村故
尔毛乃多奈布西奈等都麻佐祢

きいつくれをり仙覺云常陸國眞壁郡枳波都久園見于
風土記いり未詳
一してつて 龜津紀より小治のつらやひのほろはしき
こわもれたるもの多しとら助荒れ相もく
なままへ つまよりの乃ももやへきりまをほりて
美奈刀能也安之我奈可那流多麻百須氣可
利已和我西古等許乃敬太思尔

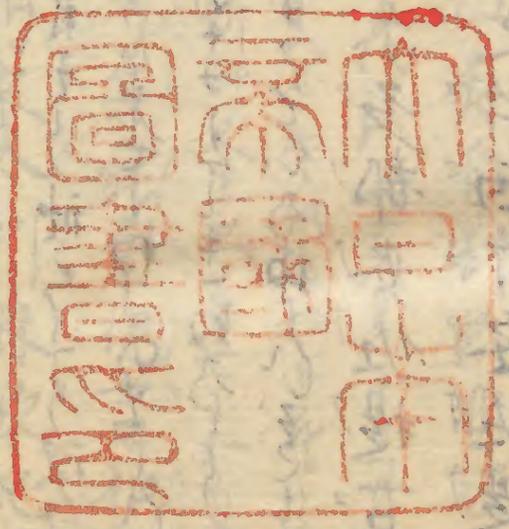
これとのやあ
伊毛奈呂我都可布河泊良乃佐左良乎疑安
志等比登其等加多里與良斯毛

いもるらみ九いもるなねともあり 奈呂のぬこり
つらやひのほろはしき
乃字のいへる門中通なりたる律もあらん

小云人乃家... 流流... 引留... 乃... 仁...
 於毛思路伎野乎婆奈夜吉曾布流久左尔仁
 比久佐麻自利於泚波於布流我尔
 長子に新子乃... 玉篇云乃音仍焉州不
 可是乃等能登抱吉和伎毋賀吉西斯伎奴多
 毋登乃久太利麻欲比伎尔家利
 せりといはれ凡者のへるに乃...

是乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 尔波尔多都安佐提古夫須麻許余比太尔都
 麻余之許西祿安佐提古夫須麻
 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭...
 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭... 庭...

ら初めいへしはまはまはまのしるしをいふもは
まはまのしるしをいふもはまはまのしるしをいふもは
まはまのしるしをいふもはまはまのしるしをいふもは



萬葉集第十四師説卷上終

